



2012年(平成24年)10月期

第2四半期決算説明会資料

株式会社オービス

代表取締役社長 なかはま ゆうじ 中浜 勇治

(大阪証券取引所(ジャスダック市場)、証券コード:7827)

2012年6月22日

●目次

PART1 会社の概要	3
●プロフィール	4
●経営理念・沿革	5
PART2 事業の特長(強み)	6
●木材事業のビジネスフロー	7
●木材事業の特長	8
PART3 2012年10月期第2四半期の連結業績	11
1. 四半期連結損益計算書	12
2. 売上高・四半期純利益の増減要因	13
3. 報告セグメント業績	
●木材事業	14
●ハウス・エコ事業	15
●アミューズメント事業	16
●不動産事業	17
4. 四半期連結貸借対照表及び四半期連結 キャッシュ・フロー計算書	18

PART4 市場環境と取組みの進捗状況	19
●木材事業の市場環境 ①	20
●木材事業の市場環境 ②	21
●木材事業の市場環境 ③	22
●木材事業:取組みの進捗状況	23
●ハウス・エコ事業の市場環境	24
●ハウス・エコ事業:取組みの進捗状況	25
●アミューズメント事業の市場環境	26
●アミューズメント事業:取組みの進捗状況	27

PART5 2012年10月期の業績予想	28
1. 連結業績予想(通期)	29
2. 予想配当	30
●本資料お取扱上のご注意	31
●IR担当窓口	32

PART1

会社の概要



ニュージーランドの松林(写真提供:住友林業株式会社)

ニュージーランド松製材の国内最大手

当社グループは、木材、ハウス・エコ、アミューズメント、不動産の4つの事業を基盤にビジネスを展開しております。特に主力の木材事業では、ニュージーランド松(ラジアータパイン)製材の国内最大手の評価を頂いております。

会社名	株式会社オービス
設立	昭和34年11月
代表取締役社長	中浜 勇治(なかはま ゆうじ)
資本金	6億8,498万円
従業員数	245人(2012年4月末現在)
連結売上高	105億円(2011年10月期末)
事業内容	梱包用材等の製造、販売、プレハブハウスの製造、販売、仮設建物等のリース、一般建築の請負、太陽光発電パネル等の施工・販売、カラオケハウス及びゴルフ場の運営、不動産の賃貸及び売買
本社	〒729-0105 広島県福山市南松永町四丁目1番48号
連結子会社	株式会社パル TUI MARITIME S.A. (パナマ)

●社名の由来●



当社社名の「オービス(ORVIS)」とは、ラテン語で「創設者・出発点」という意味を持つ「origao」と、「パワー・効力」という意味の「vis」を組み合わせた造語です。みなぎる活力で未来を創造していきたいという企業テーマを象徴しております。

経営理念

顧客満足・社員満足

当社グループの経営理念「顧客満足・社員満足」は、「お客様が満足して使用できるものを生産・提供することにより社会に貢献し、それにより社員の生活の向上を図り、株主の皆様へ利益を還元していく」という意味をあらわしております。

当社グループの主要な沿革

昭和34年11月	有限会社中浜材木店を設立	平成元年10月	広島市安佐北区にカラオケハウス1号店を開店
昭和37年 5月	広島県世羅郡世羅西町(現世羅町)に製材工場を建設	平成 4年 4月	株式会社オービスに商号変更
昭和43年 3月	ニュージーランド松の製材工場建設 同時にプレハブ部材の生産開始	平成14年 8月	木材運搬船「グリーンホープ」(最大積載量35,000トン)完成、航海開始
昭和46年 6月	広島県福山市に製材工場移転 同時にプレハブハウスの完成品を販売開始	平成14年11月	中須ゴルフ倶楽部の営業譲渡を受け、営業開始
昭和49年 9月	有限会社中浜材木店を組織変更し、中浜木材株式会社を設立	平成15年 5月	広島県福山市に賃貸マンションを取得し、不動産賃貸開始
昭和62年12月	広島市西区に賃貸ビルを建設し、不動産賃貸開始	平成18年9月	ジャスダック証券取引所に上場 (現大阪証券取引所JASDAQ市場)
平成元年 4月	カラオケハウスの製造販売開始	平成20年8月	木材事業姫路工場稼働開始
		平成22年2月	太陽光発電パネル等の施工・販売の開始

PART2

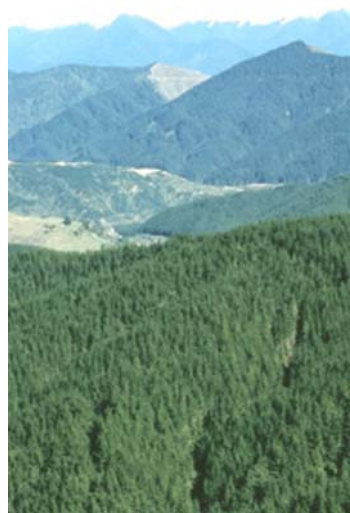
事業の特長(強み)



●木材事業のビジネスフロー

仕入・船積

ニュージーランド産ラジアータ松の原木を現地輸出業者から直接仕入



特徴①

海上輸送

専用運搬船「グリーンホープ」で日本まで安定・低コスト輸送



港からの搬入

原木を港湾地域にある当社本社工場及び姫路工場の2ヶ所へ搬入



特徴②

大量製材

独自の大型機械化製造ラインで大量・低コスト製材



出荷

製品を顧客及びユーザーへ直送



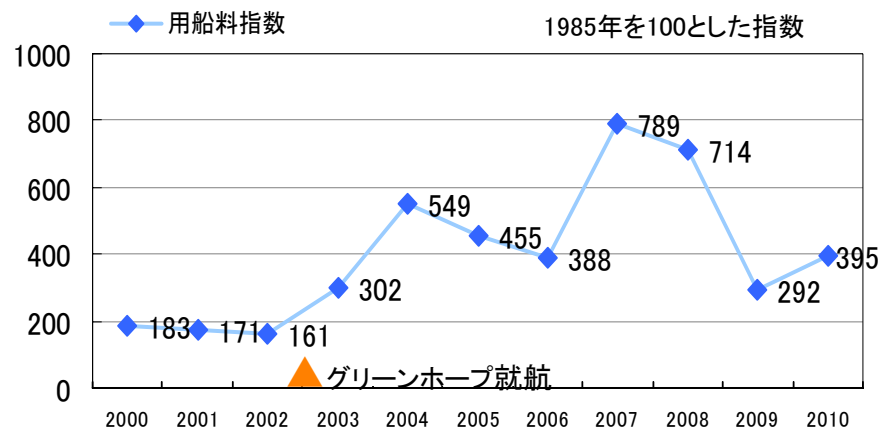
● 木材事業の特長① 専用木材運搬船「グリーンホープ」

■ 安定した輸送コストを実現



- 専用木材運搬船「グリーンホープ」(最大積載量35,000トン)を保有
- 日本とニュージーランドの間を年間8往復し、原木を海上輸送
- 安定的な輸送手段と輸送コストを確保＝国際用船料相場の高騰に影響されない

■ ロイズ SHIPPINGエコノミストによる
不定期船定期用船料指数 (2万トン以上3万5千トン未満クラス)



■ バルチック海運指数 (ロンドン海運取引所算出)



●木材事業の特長② 最新の「3Dスキャンシステム」と製材ライン

■立体解析されたデータにより自動製材



- 独自の「3Dスキャンシステム」を姫路工場に設置
- 木材をコンピュータで立体的に解析、最適な木材の切り出し図を自動判定
- 解析データによりすべての機械をコントロールし、自動的に製材を行う。

当社独自の「3Dスキャンシステム」

●木材事業の特長③ 製品の特徴

■ラジアータ松の強み

- 植林木のため資源量が豊富で安価⇒恒久的に安定供給できる
- 柔軟性に富み加工性に優れる ⇒梱包用材に最適
- 原木の直径が大きく、幅広い製品が取れる
- 計画植林のため環境負荷をかけない

■価格競争力

- 直接仕入、自社船による安定的低コスト輸送、大量製材、直接販売等により、ローコストオペレーションが確立されており、価格競争力がある

■国内挽製材による多品種、大量、速納性

- 国内の2ヶ所の工場で製材をしているため、多様な顧客ニーズに合わせたきめ細かい製材明細を大量に対応することが可能
- 海外で製材する輸入製材品は、通常3ヶ月前から注文を確定しなければならない。当社は1週間程度で納品できるため速納性にすぐれている

●当社ブランドイメージ「安く、早く、大量に安定供給できる」

PART3

2012年10月期第2四半期の連結業績

1. 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

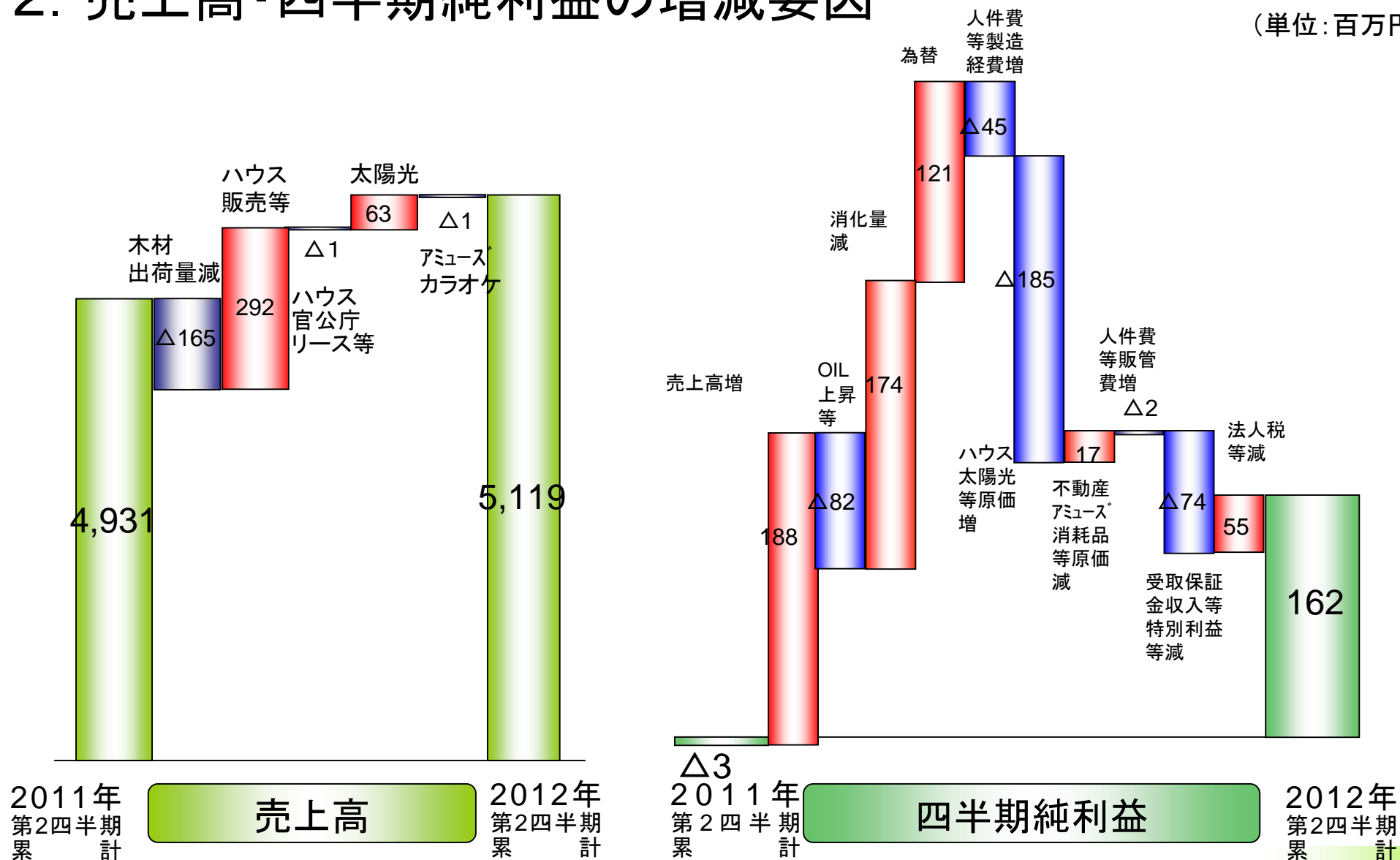
	2011年 第2四半期 累計実績	百分比	2012年 第2四半期累計 当初業績予想	2012年 第2四半期 累計実績	百分比	前年 同期比	業績 予想比
売上高	4,931	100.0%	5,556	5,119	100.0%	103.8%	92.2%
売上総利益	679	13.8%	787	867	17.0%	127.7%	110.2%
販売費及び 一般管理費	685	13.9%	755	687	13.4%	100.4%	91.0%
営業利益又は 営業損失(△)	△5	—	31	180	3.6%	—	569.6%
経常利益又は 経常損失(△)	△32	—	△0	165	3.3%	—	—
四半期純利益又は 四半期純損失(△)	△3	—	△14	162	3.2%	—	—
1株当たり四半期純利益 又は四半期純損失(△)	△2.02円	—	△8.60円	94.12円	—	—	—

●輸出の低迷により木材事業の出荷量は前年同期比6.3%減少。

ハウス・エコ事業において東日本大震災の応急仮設住宅の寒さ対策工事が完工。

2. 売上高・四半期純利益の増減要因

(単位:百万円)



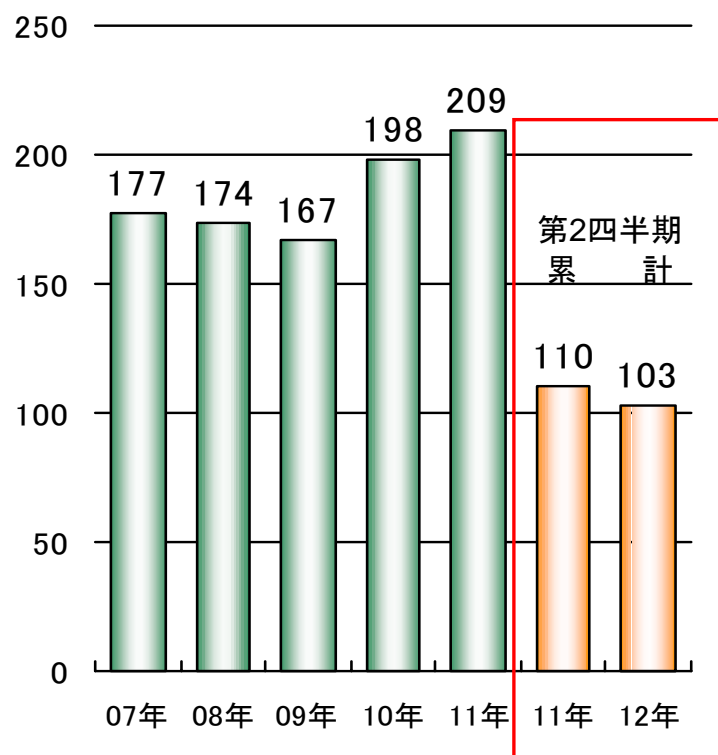
3. 報告セグメント業績

● 木材事業

- 出荷量 前年同期比6.3%減少、販売単価 維持に努め、前年同期比3.2%上昇。
- 原木FOB価格は落ち着きを見せているものの、オイル価格は上昇。

■ 当社出荷量の推移

(単位:千m³)



■ 木材事業の業績

(単位:百万円)

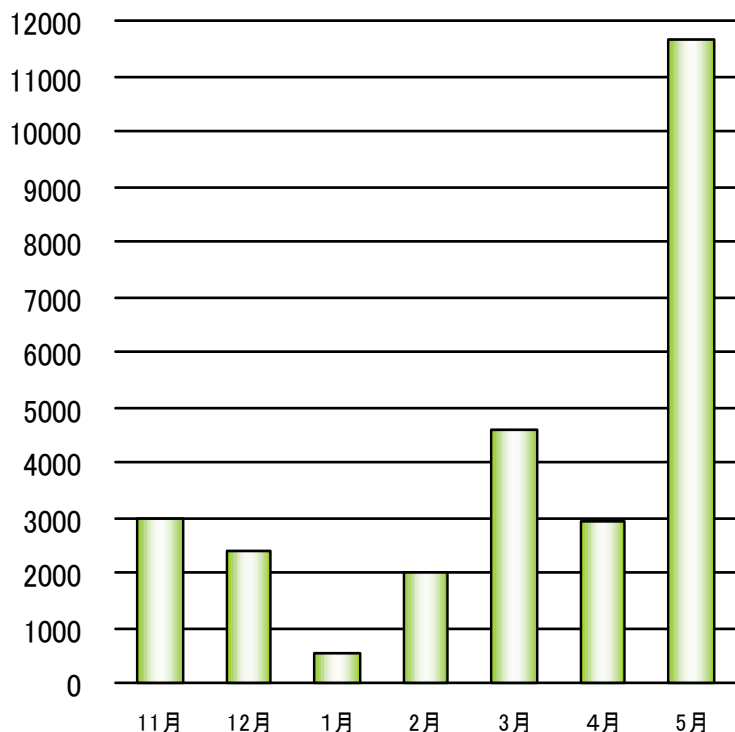
	2011年 第2四半期 累計実績	百分比	2012年 第2四半期 累計実績	百分比	前年 同期比
売上高	3,413	100.0%	3,249	100.0%	95.2%
営業費用	3,365	98.6%	3,175	97.7%	94.4%
営業利益	47	1.4%	73	2.3%	153.9%
平均為替 レート(円)	82.92	—	77.52	—	93.5%

● ハウス・エコ事業

- プレハブハウスは、利益率重視で選別受注。
- 東日本大震災の応急仮設住宅の寒さ対策工事が完工。
- 太陽光発電システムの販売・施工に人的資源・体制をシフト。

■ 当社太陽光発電システムの商談状況

(百万円)


 2012年10月期太陽光発電
月別新規発生商談状況

■ ハウス・エコ事業の業績

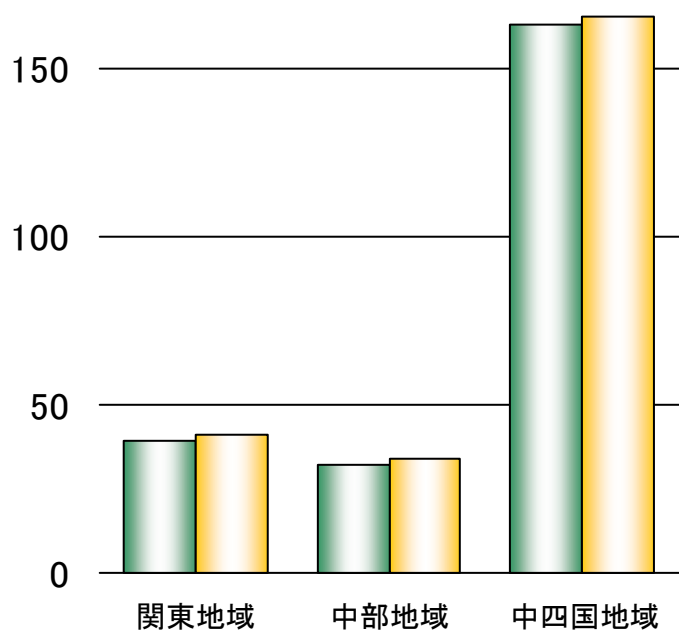
(単位:百万円)

	2011年 第2四半期 累計実績	百分比	2012年 第2四半期 累計実績	百分比	前年 同期比
売上高	1,074	100.0%	1,428	100.0%	132.9%
営業費用	1,047	97.5%	1,253	87.8%	119.7%
営業利益	26	2.5%	174	12.2%	645.3%

● アミューズメント事業

- カラオケ事業の既存店売上は、微増(前年同期比101.9%)。
- 消耗品等コスト削減により営業利益は黒字化。

■ 地域別カラオケ店舗既存店売上
前年同期比(百万円)



□ 2011年2nd □ 2012年2nd

■ アミューズメント事業の業績

(単位:百万円)

	2011年 第2四半期 累計実績	百分比	2012年 第2四半期 累計実績	百分比	前年 同期比
売上高	379	100.0%	378	100.0%	99.5%
営業費用	392	103.3%	373	98.8%	95.2%
営業利益又は 営業損失(△)	△12	—	4	1.2%	—

● 不動産事業

- 賃貸マンション、売買物件実績(1件)共に大きな変動なく売上高は横ばい。

■ 不動産事業の業績

(単位:百万円)

	2011年 第2四半期 累計実績	百分比	2012年 第2四半期 累計実績	百分比	前年 同期比
売上高	64	100.0%	64	100.0%	100.5%
営業費用	39	60.9%	41	63.7%	105.3%
営業利益	25	39.1%	23	36.3%	93.1%

4. 四半期連結貸借対照表及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書

■ 要約四半期連結貸借対照表

(百万円)	2011年 第2四半期末	構成比	2012年 第2四半期末	構成比	増減	主な要因
流動資産	5,623	48.7%	5,461	49.9%	△162	現預金、売上債権の減少、棚卸資産の増加
固定資産	5,935	51.3%	5,493	50.1%	△441	姫路工場の機械装置等の償却等による減少
資産合計	11,558	100.0%	10,954	100.0%	△603	
流動負債	4,447	38.5%	4,074	37.2%	△373	短期借入金、1年内返済長期借入金の減少
固定負債	5,818	50.3%	5,371	49.0%	△447	長期借入金の減少
負債合計	10,265	88.8%	9,445	86.2%	△820	
純資産	1,293	11.2%	1,509	13.8%	216	利益剰余金の増加
負債及び純資産合計	11,558	100.0%	10,954	100.0%	△603	

■ 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)	2011年 第2四半期	2012年 第2四半期	主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	84	11	利益の増加、仕入債務の減少
投資活動によるキャッシュ・フロー	63	△53	前期は受取補償金収入あり
財務活動によるキャッシュ・フロー	△78	△367	短期借入金、長期借入れによる収入の減少、長期借入の返済による支出の増加
現金及び現金同等物の四半期末残高	777	430	

自己資本比率
11.2% 13.8%

有利子負債比率
69.4% 65.3%

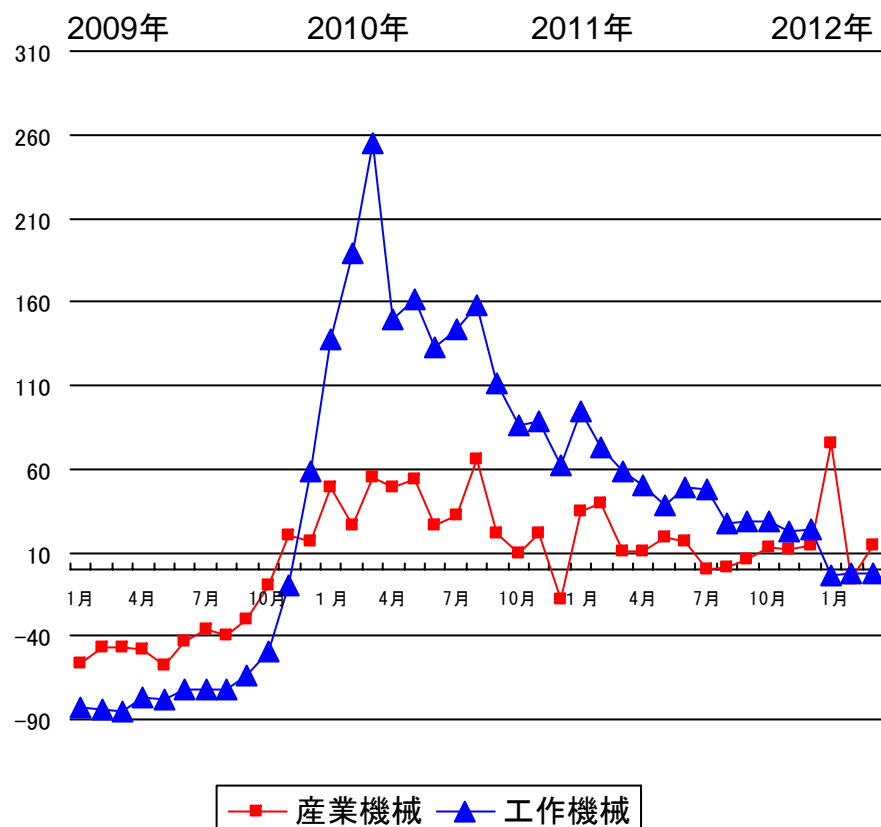
PART4

市場環境と取組みの進捗状況

● 木材事業の市場環境 ①～梱包用材のエンドユーザーの環境

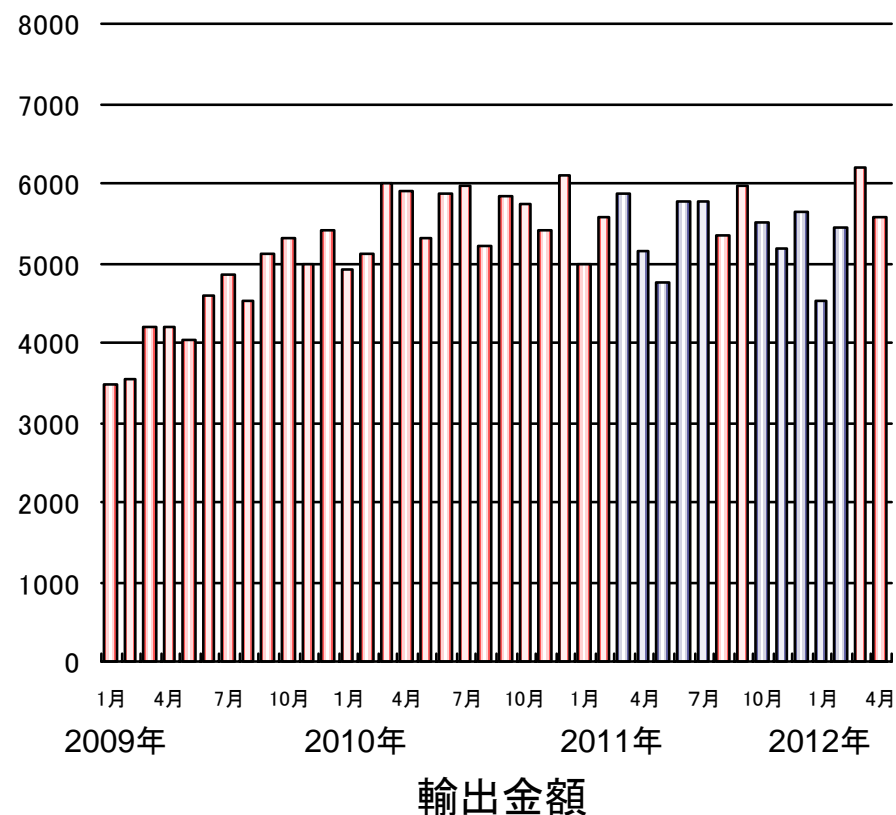
■ 産業機械及び工作機械の受注状況

内閣府経済社会総合研究所 機械受注統計調査
前年同月比 (%)



■ 輸出の状況

財務省 貿易統計 (十億円)

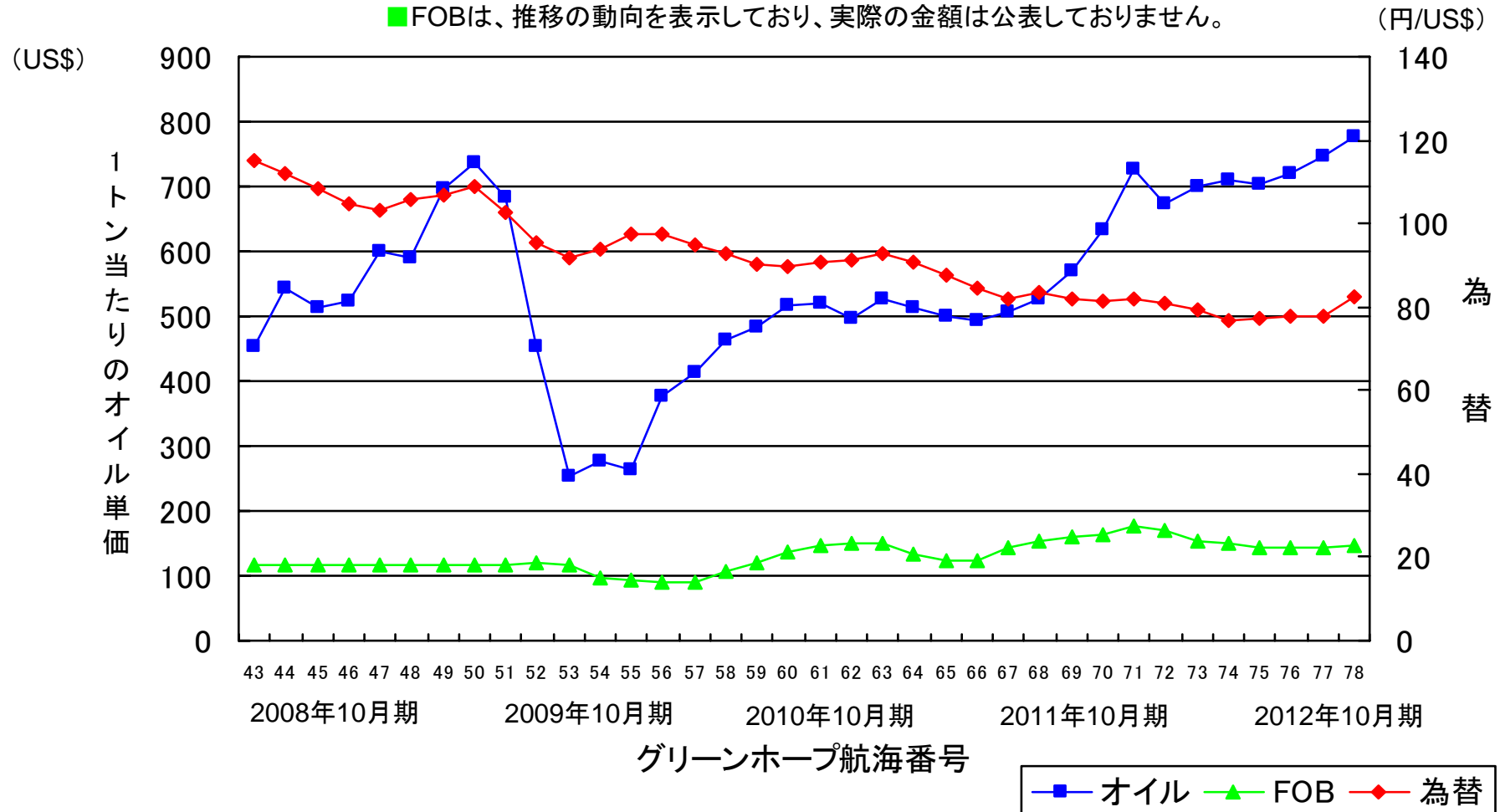


● 産業機械・工作機械等の受注は、弱含み。 輸出は、11年3月以降低迷したが、直近で回復気味。

● 木材事業の市場環境 ②～原材料仕入コストの環境

■ 為替・オイル・FOBの推移

■ オイルは自社船の各航海毎の1トン当たりの単価をUS\$で表示しております。(左軸)
 ■ 為替は、各航海の平均為替レートを表示しております。(右軸)
 ■ FOBは、推移の動向を表示しており、実際の金額は公表していません。



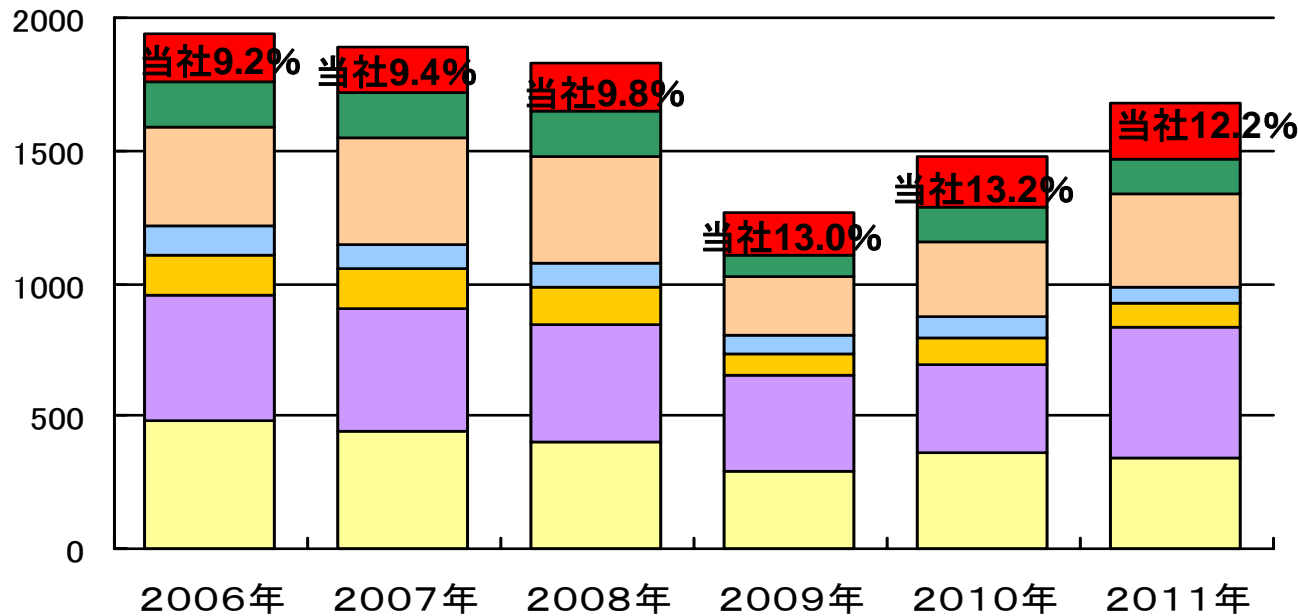
● オイルは上昇を続けている、為替は直近78船で若干円安となったが円高に戻る。FOB価格は落ち着きを見せている。

※FOB価格とは、原木を船に積み込んで引き渡すまでの価格のことをいいます。

● 木材事業の市場環境 ③～市場シェアの動向

■ 木材梱包用材の全体の出荷量と当社の比率 単位：千㎡

全体の出荷量	1,940	1,893	1,828	1,284	1,500	1,707
--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------



■ その他の地域	■ 北海道
■ 高知県	■ 広島県
■ チリ輸入製材品	■ ニュージーランド輸入製材品
■ 当社	

■ 販売先数の推移
2008年4月 453社
↓ 20%UP
2009年4月 547社
↓ 25%UP
2010年4月 686社
↓ 13%UP
2011年4月 776社
↓ 8%UP
2012年4月 838社

※ニュージーランド輸入製材品、チリ輸入製材品は、財務省輸入統計の通関量を表示しております。
 ※輸入製材品以外の出荷量は、農林水産省木材統計の用途別製材品出荷量の「木箱仕組板・梱包用材」を表示しております

2011年は、ニュージーランド松の高騰に対して、国産の安価な杉材等が出回りシェアを伸ばす。

● 木材事業：取組みの進捗状況

■ 出荷量 第2四半期累計出荷量103,036m³(前年同期比93.7%)

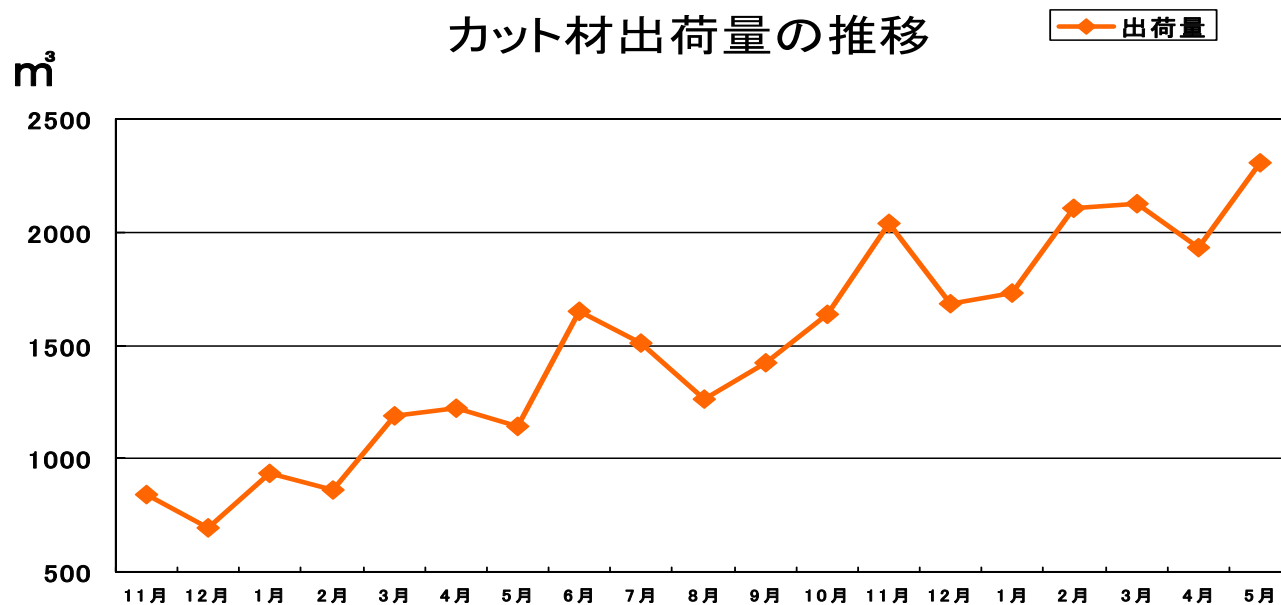
■ 販売価格を適正価格に維持

第2四半期累計平均価格で前年同期比103.2%、4月末価格で前年同期比97.4%
相場は弱含みだが、付加価値のあるカット材を販売し、価格の維持に努める。

■ カット工場の稼働開始によりカット材の納期短縮と拡販を図る。

納期は1ヶ月から2週間以内へ短縮、出荷量は増加

カット材出荷量の推移



カット材

当社の製材品は、4mの規格品が基本ですがお客様の要望により、事前に1m前後の長さにカットして納品する場合がございます。近年は、このカット材の需要が高まっております。

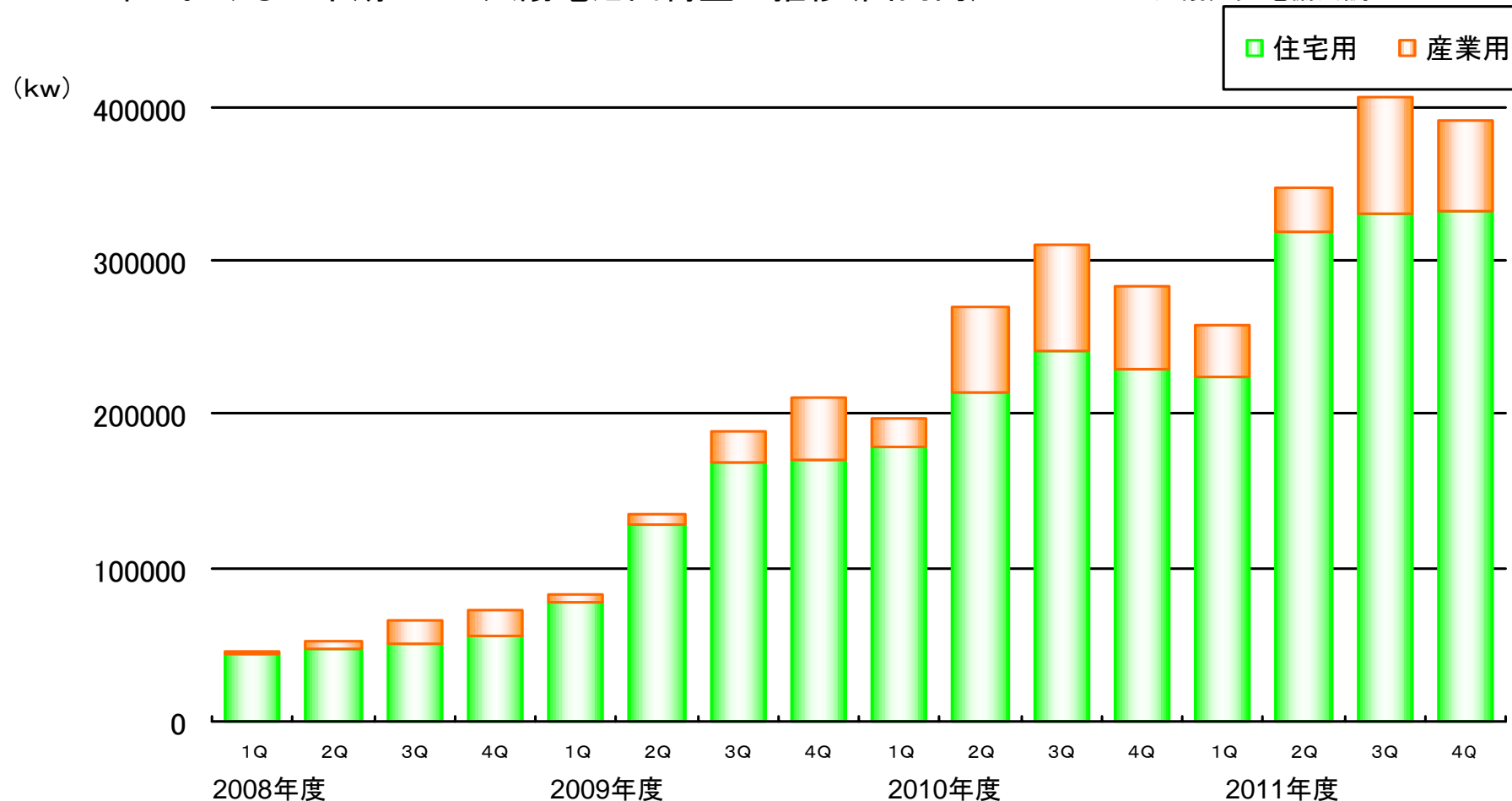
2011年10月期

2012年10月期

● ハウス・エコ事業の市場環境

■ 日本における四半期ごとの太陽電池出荷量の推移(国内向)

太陽光発電協会調べ



● 住宅用は年々四半期ごとに増加、産業用は全量買取制を控え直近四半期で増加傾向。

●ハウス・エコ事業：取組みの進捗状況

■産業用太陽光発電システムの販売に全社的に注力

- 再生エネルギー法 2012年7月施行。

買取価格案42円(税込)・20年間の発表を受け、商談の急増、発電規模の大型化。

※現在のところ、7月1日以前の事前着工は上記買取対象とならないため、待機状態。

- 大手商社、リース会社、ゼネコン、パネルメーカー その他新規参入企業からの施工パートナーとしてオファーの増加、メガソーラー等見積案件の急増

- 既存のハウス事業所の経営資源を利用した全国展開
既存営業社員の教育、新規専任営業社員の採用

- 大型工事に対応した技術者の採用、施工体制の確立
既存工務社員の施工現場への投入、新規電気技術者の採用

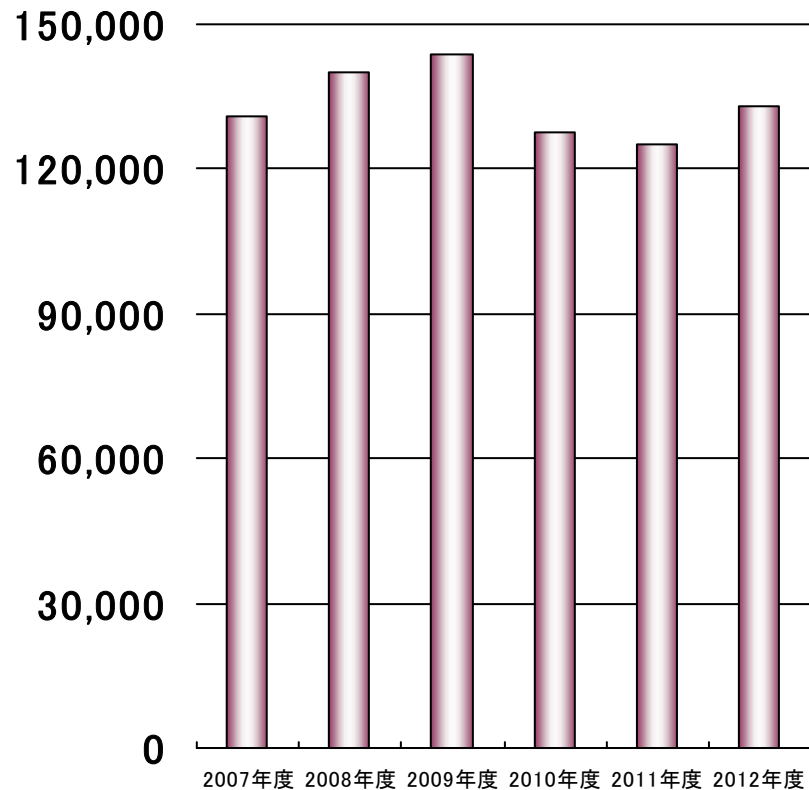


太陽光パネル施工例

- 当期の太陽光発電システムの売上高20億円を目指す。

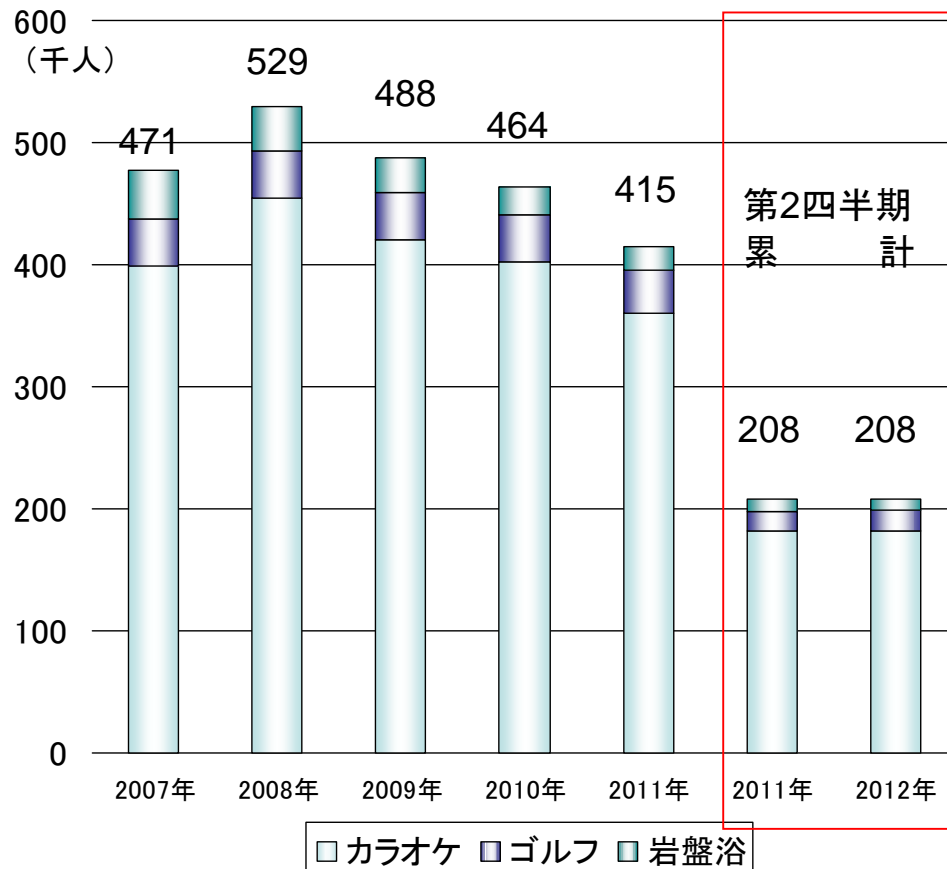
●アミューズメント事業の市場環境

■カラオケ上場5社売上高推移 (百万円)



上場しているカラオケ5社(シダックス、第一興商、AOKIホールディングス、鉄人化計画、コシダカ)の決算短信をもとに、カラオケ事業の売上高及び売上見込の合計を掲載しております。

■当社のアミューズメント事業の利用者数



- カラオケ大手チェーン店は、回復傾向
- 当社の利用者数は、前年同期比でほぼ横ばい。

● アミューズメント事業：取組みの進捗状況

■ サービスの基本教育の徹底

- 接客、清掃、基本オペレーション業務の徹底教育によるサービスの向上
 - ・全店舗にて接客研修実施
 - ・スタッフレベルチェックシートによる教育と習熟度のチェック

■ 既存店舗の収益力の向上

- 全社統一イベントの定期的な企画と実施
 - ・年末年始忘新年会飲み放題プラン、女子会プラン
 - ・バレンタイン企画
 - ・歓送迎会プラン
 - ・ステップアップクーポン
 - ・夏メニュー企画(予定)
- 各業務毎の改善担当の設置による全社的な改善への取組み
 - ・店舗改善班、顧客満足班、意識改革班
 - ・プロモーション班、クルー教育班



PART5

2012年10月期の業績予想

1. 連結業績予想(通期) 通期見込みを据え置き (単位:百万円)

	2011年	百分比	2012年	百分比	前期比
売上高	10,542	100.0%	11,427	100.0%	108.4%
売上総利益	1,453	13.8%	1,693	14.8%	116.5%
販売費及び一般管理費	1,325	12.6%	1,506	13.2%	113.7%
営業利益	128	1.2%	187	1.6%	146.1%
経常利益	43	0.4%	99	0.9%	229.3%
当期純利益	48	0.5%	74	0.6%	153.0%
1株当たり当期純利益	27.94円	—	42.75円	—	153.0%

- 木材事業のカット材拡販による製品出荷量の維持、適正販売価格の維持
- 産業用太陽光発電システムをより多く期中に完工させ売上・利益を確保

4. 予想配当

	期末配当	配当性向
2011年 10月期	無配	—
2012年 10月期	普通配当 5円	11.7%

予想配当を5円に復配

●本資料お取扱上のご注意

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想並びに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

●IR担当窓口



株式会社 オービス

経営企画室 中奥 淳史

Tel. 084-934-2621 (代)

Fax. 084-934-2624

E-mail: ir@orvis.co.jp

URL: <http://www.orvis.co.jp>